

研究理論	3年・後期	1単位 30時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111113

1. 授業のねらい・概要

学生が4年次の「看護研究」を遂行するために、看護研究の目的・意義を理解し、研究に関する基礎的知識・理論を学習して、看護研究のプロセスおよび手法を理解できるようになることを目的とする。

学生は、ポスター発表会および看護研究発表会に参加し、研究発表会の実際を体験しながら、自己の研究課題の焦点化し、看護研究の進め方をシミュレーションしながら考察する。

2. 学修の到達目標

1. 看護研究とは何かについて、キーワード3語を用いて述べるができる。(D-5)
2. 研究への取り組み姿勢における重要な5項目を述べるができる。(D-5)
3. 研究疑問の性質を理解し、3要件を述べるができる。(D-5)
4. 研究における倫理的配慮において重要な17項目を述べるができる。(D-1)
5. ポスター発表会を通して、研究方法の特徴と展開およびポスター発表の実際を知り、レポートすることができる。(D-5)
6. 自己の研究課題を明確にし、「看護研究ワークシート」に記入することができる。(D-5)
7. 看護研究発表会を通して、抄録の書き方、発表方法の実際を知り、レポートすることができる。(D-5)
8. 研究論文の具体的な書き方を理解し、わかりやすい文章の書き方を6項目述べるができる。(D-5)

3. 授業の進め方

テキストに基づくパワーポイント資料を用いた講義と、テキスト付録「看護研究ワークシート」を用いた演習を中心に進める。演習は、個人ワークおよびグループワークを併用する。

4年生が開催する、ポスター発表会（10月雑草祭）および看護研究発表会（11月）に参加して、課題をレポートする。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、調査学習、対話・議論型授業、グループワーク、リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による、学習課題や学習教材の提示・配信、学習課題の提出等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護研究とは	講義	予習：テキストの第1章（1）を読み、専門用語及び分からない言葉を調べる。	石久保雅浩

			復習：「看護研究とは何か」、「看護研究の取り組み姿勢の5項目」についてまとめる。	
2	看護研究の種類：研究デザイン	講義	予習：テキストの第1章(2)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：研究デザインの種類と特徴をまとめる。	石久保
3	看護研究と倫理的配慮	講義	予習：テキストの第1章(4)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：研究における倫理的配慮の17項目とその必要性についてまとめる。	石久保
4	看護研究の方法①文献研究・質的研究	講義	予習：テキストの第1章(3)(5)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：文献・質的研究の特徴をまとめる。	石久保
5	看護研究の方法②量的研究	講義	予習：テキストの第2章(7)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：量的研究の特徴をまとめる。	石久保
6	看護研究の実際①：雑草祭ポスター発表1日目	演習	予習：1日目プログラムから、参加する演題を選び関連内容の情報収集をする。 復習：参加した演題の概要をまとめ、課題レポートを作成する。	石久保
7	看護研究の実際②：雑草祭ポスター発表2日目	演習	予習：2日目プログラムから、参加する演題を選び関連内容の情報収集をする。 復習：参加した演題の概要をまとめ、課題レポートを作成する。	石久保
8	研究課題の決定	講義 演習	予習：テキストの第2章(1)～(5)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：問いのリストを作成する。	石久保
9	研究計画書の作成①：課題・背景	演習	予習：テキストの第2章(6)を読み、専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：研究課題と枠組み決定し、先行研究を調べる。	石久保
10	研究計画書の作成②：目的	演習	予習：研究の目的を明確にする。 復習：看護研究ワークシート1～3の作成を進める。	石久保
11	研究計画書の作成③：方法	演習	予習：研究課題にあわせ、研究方法を決定する。 復習：看護研究ワークシート4～6の作成を進める。	石久保
12	研究計画書の作成④：倫理的配慮	演習	予習：研究デザインにあわせ、必要な倫理的配慮について調べる。 復習：看護研究ワークシート7の作成を進める。	石久保
13	抄録の書き方（看護研究発表会①）	演習	予習：抄録集を読み、質問内容を検討する。 復習：抄録の書き方に関する課題レポートをまとめる。	石久保
14	発表の仕方（看護研究発表会②）	演習	予習：口演発表の方法についてまとめる。 復習：発表の仕方に関する課題レポートをまとめる。	石久保

15	論文の書き方	講義	予習：テキストの第4章を読み，専門用語及びわからない言葉を調べる。 復習：わかりやすい文章の書き方について6項目をまとめる。	石久保
----	--------	----	---	-----

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）50%，課題レポート50%で総合的に評価する。但し，どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には，単位認定できない。成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した評価観点ごとに，ルーブリック評価を基に，5段階評価で採点する。尚，ルーブリック評価に関する詳細は，第1回講義内で，別途，説明する。定期試験の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭で提示する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭で提示する。

課題レポートの配点内訳は，課題①ポスター発表会参加報告（30%），課題②看護研究発表会参加報告（20%），課題③看護研究ワークシート（50%）とし，課題詳細・メッセ・提出場所等は，講義内で資料を提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：足立はるゑ（2022）看護研究 サポートブック（改訂5版）メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および，事前事後学修（学修課題）について，最低1時間の予習及び授業内容について最低1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，無断欠席および講義中の私語，授業に関連する作業以外の行動は禁止とする。

遅刻は，1コマ中45分未満の欠課を1欠課，45分以上の欠課を2欠課とし，合計8欠課を1欠席とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験終了後に口頭で説明する。課題レポートの講評は講義内で行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。